

看護のための病態生理とアセスメント

本シリーズは、臨床でよく見られる症状における、本来の生理学的知識、病態の理解、検査や治療について、看護のために必要な内容をわかりやすく解説しています。また具体的に患者を設定し、病態生理を踏まえた上でのアセスメントや看護目標・援助といった、看護過程でのポイントを例で示しています。看護学生には、ヘルスアセスメント、臨床看護過程、老年看護、成人看護などの学習教材としてご活用いただけます。



- 全14巻 ■ DVD 各巻価格 ¥28,000 (本体価)+税
- DVD セット価格 ¥392,000 (本体価)+税
- 監修：高橋 龍太郎 東京都健康長寿医療センター 研究所 副所長
- 堀内 ふき 佐久大学 看護学部 看護学科 教授
- 山田 律子 北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科 教授

各番組は、基本として以下の構成となっています

- I 症状・病態についての知識 ■ 定義、分類 ■ 基本となる解剖生理
- 原因・誘因と発症のメカニズム (病態生理) ■ 随伴症状、リスク
- 主な診察と検査、治療
- II 看護過程でのポイント ■ アセスメント (情報収集、情報分析)
- 看護目標と援助 (看護の焦点の明確化、計画立案、介入実施)

■ 栄養・代謝

vol. 1 摂食・嚥下障害 37分



■ 原案監修：堀内 ふき 佐久大学 看護学部 看護学科 教授

■ 摂食・嚥下障害とは ・ 摂食・嚥下障害の定義 ・ 正常な摂食・嚥下の生理 ■ 発症のメカニズム ・ 嚥下各期の障害：症状と背景、原因となる疾患など、随伴症状とリスク ■ 診察・検査・治療 ・ 診察：問診、他覚所見 ・ 検査：スクリーニング検査、画像検査 ・ 治療：リハビリテーション (間接訓練、直接訓練)、管理栄養 ■ アセスメント (具体例：脳血管疾患患者の回復期) ・ 患者プロフィール：発症からの概要、入院時の状況、入院時所見・情報収集とアセスメント：背景・原因・誘因、種類、症状・状態、随伴症状、リスク ■ 看護目標と援助 ・ 看護の焦点と目標 ・ 援助の内容：嚥下訓練、嚥下障害を補う環境づくり、嚥下障害に伴うリスク予防

vol. 2 悪心嘔吐 41分

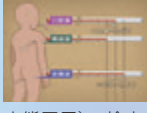


■ 原案監修：山田 律子 北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科 教授

■ 原案協力：難波 香織 前北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科 助教

■ 悪心嘔吐のメカニズム ・ 悪心嘔吐とは (悪心嘔吐の定義、症状、悪心と嘔吐の関連、防御反応) ・ メカニズム (嘔吐のメカニズム、嘔吐の種類) ■ 悪心嘔吐の原因・誘因 ・ 主な原因、誘因 ・ 原因、誘因による特徴 (嘔吐物の性状との関連、発現状況との関連) ・ 随伴症状 (特に注意が必要な症状、ショック状態) ■ 診察・検査・治療・ケア ・ 原因疾患の診察・検査 ・ 悪心嘔吐の治療・ケアとアセスメントのポイント ■ アセスメント (具体例：閉塞性イレウス) ・ 患者プロフィール (患者、年齢、性別、現病歴、既往歴、入院までの状況、入院時の状況、入院時所見) ・ イレウスについて (病態、診察・検査・治療) ■ 看護目標と援助 (具体例：閉塞性イレウス) ・ 看護の焦点と目標 ・ 看護のポイント (状態の把握、ケア・看護のポイント、看護の経過)

vol. 3 発熱 42分



■ 監修：山田 律子 北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科 教授

■ 原案：内ヶ島 伸也 北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科 講師

■ 体温とは ・ 体温とは ・ 変動の要因 ■ 体温調節と発熱 ・ 体温の調節 (体温調節中枢、セットポイント) ・ 発熱 (高体温、発熱のメカニズム) ・ 随伴症状とリスク ■ 診察・検査・治療 ・ 診察 (問診、体温測定、熱型、病態因子) ・ 検査 (血液検査、尿検査、培養検査) ・ 治療 (原因疾患の治療、発熱に対する治療、解熱鎮痛薬、全身の管理) ■ アセスメントと援助 (具体例：発熱・誤嚥性肺炎) ・ 患者プロフィール (主訴、搬送までの経緯、状態、所見) ・ 患者の診断と治療 ・ 発熱に対する看護目標と援助 (解熱の促進、苦痛の緩和、治療に必要な観察と援助、合併症を予防するための生活援助、誤嚥性肺炎再発予防の援助) ■ アセスメントと援助 (具体例：うつ熱・熱中症) ・ 患者プロフィール (主訴、現病歴、状況、所見) ・ 患者の診断と治療 ・ 熱中症に対する看護目標と援助 (身体冷却と水分・塩分の補給、治療に必要な観察、合併症予防の援助、予防と応急処置に関する指導)

■ 呼吸・循環

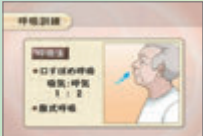
vol. 4 呼吸障害 44分



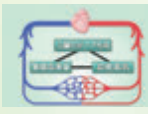
■ 監修：堀内 ふき 佐久大学 看護学部 看護学科 教授

■ 原案：小山 智史 佐久大学 看護学部 看護学科 講師

■ 呼吸障害とは ・ 呼吸障害の定義 ・ 呼吸の解剖生理 ・ 呼吸障害の分類と原因疾患 ■ 呼吸障害の診察・検査・治療 ・ 診察 (初期診断、視診、触診、打診、聴診、問診) ・ 検査 (動脈血ガス分析、血液検査、画像、呼吸機能検査) ■ 代表的な疾患例 ・ 気管支喘息 (喘息の分類、病態、喘息発作の重症度と治療長期管理) ・ COPD (COPDとは病態治療) ・ 間質性肺炎 (間質性肺炎とは、病態、治療) ■ アセスメント (具体例：COPD) ・ 患者プロフィール (現病歴・既往歴、入院までの状況、入院時の状況、入院時所見) ・ アセスメント (原因・誘因、重症度、リスクなど現在の状況) ■ 看護目標と援助 (具体例：COPD) ・ 看護の焦点と目標 ・ 観察のポイント (呼吸訓練、歩行時の呼吸法、筋力トレーニング、生活習慣、禁煙指導、服薬指導、感染予防)



vol. 5 ショック 43分



■ 原案監修：堀内 ふき 佐久大学 看護学部 看護学科 教授

■ 原案協力：阿藤 幸子 佐久大学 看護学部 看護学科 助手

■ ショックとは ・ 正常な循環動態、末梢循環動態 ・ ショックの定義

・ ショックの5徴、診断基準 (日本医学会) ■ 発症のメカニズム

・ ショックの種類と発症のメカニズム ・ ショックの生体反応 (代償)

・ 随伴症状とリスク ■ 診察・検査・治療 ・ 診察：判断 (バイタルサイン、視診、触診、問診、CRT) ・ 観察ポイント ・ 検査・治療 ・ 循環血流量減少性ショック、心原性ショック、血管抵抗減少性ショック、敗血症性ショック ■ アセスメント (具体例：出血性ショック) ・ 患者プロフィール ・ アセスメント (来院時の状況、原因・誘因、程度、リスク) ■ 看護目標と援助 (具体例：出血性ショック) ・ 看護の焦点と目標 ・ 援助の内容 (観察、ケア、教育的援助、看護の経過) ■ アセスメント (具体例：心原性ショック) ・ 患者プロフィール ・ アセスメント (来院時の状況、原因・誘因、程度、リスク) ■ 看護目標と援助 (具体例：心原性ショック) ・ 看護の焦点と目標 ・ 援助の内容 (観察、ケア、教育的援助、看護の経過)

vol. 6 浮腫・脱水 50分



■ 原案監修：山田 律子 北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科 教授

■ 原案協力：難波 香織 前北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科 助教

■ 浮腫・脱水とは ・ 浮腫、脱水の定義 ・ 体液 (体液量と組成、機能、水分出納) ・ 体液の調節 (水分出納、調節のメカニズム) ■ 浮腫発生のメカニズム ・ 局所性浮腫と全身性浮腫のメカニズム (発生病因と発生病機)

・ 浮腫の種類 (原因疾患、症状、随伴症状とリスク) ■ 浮腫の診察・検査・治療 ・ 診察：検査・鑑別 ・ 治療 ■ アセスメント-浮腫 (具体例：心性浮腫) ・ 患者プロフィール ・ アセスメント (原因、誘因、症状など) ■ 看護目標と援助-浮腫 ・ 看護の焦点と目標 ・ 正確な観察による的確な状態把握 ・ 援助の内容 ■ 脱水発生のメカニズム ・ 脱水のメカニズム (水欠乏性、Na欠乏性、混合性) ・ 随伴症状とリスク ■ 脱水の診察・検査・治療 ・ 診察：検査・重症度 ・ 治療 ■ アセスメント-脱水 (具体例：高齢者の水欠乏性脱水) ・ 患者プロフィール ・ アセスメント (原因、誘因、症状など) ■ 看護目標と援助-脱水 ・ 看護の焦点と目標 ・ 観察の徹底 ・ 援助の内容

■ 排泄

vol. 7 排尿障害 39分



■ 原案監修：山田 律子 北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科 教授

■ 原案協力：上野 澄恵 北海道医療大学大学院 看護福祉学研究所 皮膚・排泄ケア認定看護師

■ 排尿障害とは ・ 排尿障害の定義 ・ 尿の生成、蓄積、排尿の生理 ■ 発症のメカニズム ・ 尿排出障害、蓄尿障害、過活動性膀胱、神経因性膀胱のメカニズム、症状など ・ 尿失禁の症状と病態、起因する疾患、リスク ■ 尿失禁の検査・治療 ・ 検査 (問診、他覚所見、一般的な検査、精密検査) ・ 治療法 ■ アセスメント (具体例：切迫性・機能的尿失禁) ・ 患者プロフィール ・ アセスメント ・ 尿失禁のタイプの診断 ■ 看護目標と援助 (具体例：切迫性・機能的尿失禁) ・ 看護の焦点と目標 ・ 援助の内容 (排泄の援助、膀胱訓練) ■ アセスメント (具体例：腹圧性尿失禁) ・ 患者プロフィール ・ アセスメント ・ 尿失禁のタイプの診断 ■ 看護目標と援助 (具体例：腹圧性尿失禁) ・ 看護の焦点と目標 ・ 援助の内容 (日常生活改善、骨盤底筋訓練の指導)

vol. 8 排便障害 45分



■ 原案：山田 律子 北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科 教授

■ 原案協力：上野 澄恵 北海道医療大学大学院 看護福祉学研究所 皮膚・排泄ケア認定看護師

■ 排便障害とは ・ 排便の機能と障害 (排便障害の定義、食物の摂取から排泄の過程、排便のメカニズム) ・ 排便障害の分類 (種類、診断、治療) ■ 下痢・便失禁 ・ 下痢の症状、病態・誘因、リスク ・ 下痢の治療とケア ・ 便失禁のケア ・ 排便のアセスメント、排泄用具、オムツ ■ 便秘 ・ 便秘の症状、病態・誘因、リスク ・ 便秘の治療とケア ■ 過敏性腸症候群 (IBS) ・ IBSの症状、病態・誘因、リスク ・ IBSの治療とケア ■ アセスメント (具体例：脳梗塞の高齢者、便秘、排泄機能障害) ・ 患者プロフィール ・ アセスメント ■ 看護目標と援助 (具体例：脳梗塞の高齢者、便秘、排泄機能障害) ・ 看護の焦点と目標 ・ 援助の内容

看護のための病態生理とアセスメント



●全14巻 ■DVD各巻価格 ¥28,000 (本体価)+税
■DVDセット価格 ¥392,000 (本体価)+税

■監修：高橋 龍太郎 東京都健康長寿医療センター研究所 副所長
堀内 ふき 佐久大学 看護学部 看護学科 教授
山田 律子 北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科 教授



■知覚・運動

vol.9 意識障害 43分



■原案監修：堀内 ふき 佐久大学 看護学部 看護学科 教授
■原案協力：小山 晶子 佐久大学 看護学部 看護学科 助手
■意識障害とは・意識の成り立ち・意識障害の種類・意識障害の原因
■意識障害の診断・意識障害の初期診療・意識レベルの観察と評価
■意識障害の例・糖尿病による昏睡(病態、治療)・せん妄(病態、治療) ■アセスメント(具体例：脳梗塞)・患者プロフィール(現病歴、発症2週後の状況・所見)・意識レベル低下の患者のアセスメント、ニーズの視点(原因・誘因、重症度、リスクなど現在の状況) ■看護目標と援助(具体例：脳梗塞)・基本的な看護方針と目標・援助の内容(食事の安全な摂取、口腔の清潔保持、排泄のコントロール、運動・活動性の維持・向上、環境整備)・介入後の状況(発症1カ月後)

vol.10 不眠 40分



■監修：山田 律子 北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科 教授
■原案：萩野 悦子 北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科 准教授
■睡眠のメカニズム・睡眠とは、睡眠パターン・睡眠の深さ、種類
・睡眠の調節 ■不眠とその影響・睡眠不足と不眠・不眠とは、高齢者の睡眠障害 ■診察・検査・治療・診察(問診、視診、バイタル)
・検査(睡眠ポリグラフ、自覚的評定尺度、睡眠日誌、診断フローチャート)・治療(認知行動療法、薬物療法) ■アセスメント・睡眠と生活(具体例：人工骨頭置換術後)
・患者プロフィール(現病歴、術前・術後の状況)・睡眠のアセスメント(主観的評価、睡眠時間・睡眠パターン、日常生活への影響)・不眠の要因・患者の現在の状況、要因
■不眠に対する援助(具体例：人工骨頭置換術後)・不眠を改善するための睡眠衛生・サーカディアンリズムを考慮したケア・睡眠・覚醒リズムを考慮した明るさ・睡眠への移行をスムーズにする援助・患者の不眠に対する援助

vol.11 うつ状態 43分

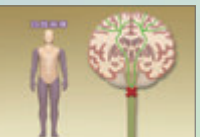


■監修：堀内 ふき 佐久大学 看護学部 看護学科 教授
■原案：上野 良子 元 横浜創英短期大学 看護学科 准教授
■うつとそのメカニズム・うつ状態、うつ病とは、うつ病のメカニズム
■うつ病の分類と特徴・うつ病の分類・うつ病の種類、症状・ライフステージとうつ病 ■診察・検査・治療・診察(問診、2項目質問表)・検査(生理学的検査、画像検査、心理検査、診断基準)・治療(病状増減の経過、物理的な療法、認知行動療法、薬物療法など) ■アセスメント(具体例：うつ病性障害)
・患者プロフィール(現病歴、入院までの状況、所見)・アセスメント・かかわり方の基本
・家族への対応、援助・急性期治療時の看護のポイント ■看護目標と援助(具体例：うつ病性障害)・急性期～継続期の看護目標・自殺企図の問題・看護の焦点、援助

vol.12 難聴・耳鳴り・めまい 44分



■原案：山本 恵子 九州看護福祉大学 看護学部 看護学科 教授
■原案協力：柿山 英津子 九州看護福祉大学 看護学部 看護学科 助教
■聴覚と平衡感覚・聴覚(聴覚器聴覚のメカニズム)・平衡感覚(平衡感覚器、平衡感覚のメカニズム) ■難聴・難聴とは(定義、伝音性・感音性・混合性難聴、症状) ■アセスメント(具体例：メニエール病)
・患者プロフィール(現病歴・既往歴、入院までの状況、入院時の状況、入院時所見)・アセスメント(原因・誘因治療リスクなど現在の状況) ■看護目標と援助(具体例：メニエール病)・看護の焦点と目標・援助の内容(めまい発作の看護、安心・安全な環境整備、精神的ケア、薬物治療)



© 2011~2015

制作著作 株式会社 医学映像教育センター <http://www.igakueizou.co.jp>



本社 / 〒168-0074 東京都杉並区上高井戸 1-8-17 TOYA BLDG.7 TEL: 03-3329-1241 FAX: 03-3303-1434
名古屋営業所 / 〒451-0042 愛知県名古屋市中区那古野 2-23-21 デラ・ドロー名駅 TEL: 052-446-5241
関西営業所 / 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 5-1-3 新大阪生島ビル 903 TEL: 06-6150-3301
福岡営業所 / 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-6-12 オキ博多駅前ビル グローバルボックス622 TEL: 092-260-1698

つっかポイント! 苦手意識をもたないように、豊富なイラストや図で解説

つっかポイント! 症状別看護に必要な病態のしくみがわかる

つっかポイント! アセスメントや看護目標・援助など、具体的な事例展開がわかる

vol.13 高次脳機能障害 46分



■原案監修：山田 律子 北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科 教授
■原案協力：長瀬 亜岐 北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科 助教 / 横山 晃子 北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科 インストラクター
■高次脳機能障害とは・高次脳機能障害とは(高次脳機能と障害、脳の解剖生理)・高次脳機能障害の原因 ■高次脳機能障害の症状・失認(失認とは、失認の種類、半側空間無視の例-検査、リハビリ)・失行(失行とは、3類型と臨床類型、検査、リハビリ)・失語(失語とは、失語の種類と特徴、検査、リハビリ)・記憶障害(記憶障害とは、記憶の過程と障害、検査、リハビリ)・注意障害(注意障害とは、検査、リハビリ)・遂行機能障害(遂行機能障害とは、検査、リハビリ)・社会的行動障害(社会的行動障害とは、検査、リハビリ)・高次脳機能障害の特徴 ■アセスメント(具体例：外傷性頭部損傷による高次脳機能障害)・患者プロフィール(現病歴・既往歴、入院までの状況、入院時の状況・所見、転棟(リハビリ科)時の状況)・アセスメント(転棟後の治療方針、残存する高次脳機能障害-失行・遂行機能障害、記憶障害、注意障害、失語、社会的行動障害、リハビリテーションの状況) ■看護目標と援助(具体例：外傷性頭部損傷による高次脳機能障害)・援助の内容(高次脳機能障害に対するケア-失行・遂行機能障害、短期記憶の障害、注意障害、失語、社会的行動障害)

vol.14 運動障害 54分



■監修：堀内 ふき 佐久大学 看護学部 看護学科 教授
■原案：山本 恵子 九州看護福祉大学 看護福祉学部 看護学科 教授
■運動障害とは・運動機能-運動器、運動の発現・運動障害とは
・検査と治療 ■歩行障害・歩行機能・歩行の分類と概要・歩行障害の治療・歩行障害のアセスメント・注意点 ■関節拘縮・関節の機能
・可動域の異常と関節拘縮の概要・関節拘縮の治療・関節拘縮のアセスメント・注意点
■麻痺・運動の神経路・麻痺の分類と概要・麻痺の治療・麻痺のアセスメント・注意点
■骨折後遺症・骨折の種類と概要・治療過程と後遺症・骨折の治療・骨折のアセスメント・注意点 ■アセスメント(具体例：大腿骨頸部骨折)・患者プロフィール・治療計画とアセスメント ■看護目標と援助(具体例：大腿骨頸部骨折)・術前の治療と援助(牽引、手術への援助)・術後の治療と援助(リスクの予防・対応、歩行訓練の援助)

まずは、「内容確認・検討」として
試写サービス(無料)をご利用ください!
お問い合わせ **0120-377-189**
[フリーコール]